ALINCO DJ-DPS70で楽しむライセンスフリー無線

近年、ますます楽しむ方が増えているライセンスフリー無線。デジタル簡易無線登録局のDJ-DPS70はライセンスフリー無線を楽しむために便利な機能を数多く搭載しています。これらの機能をカスタマイズしてデジタル無線のライセンスフリー運用を存分にお楽しみください。

DJ-DPS70の基本的な使い方と設定

DJ-DPS70の基本的な操作方法は従来機種と同様にボリュームを回して電源オン、▼キーまたは▲キーでチャンネルを選択、PTTキーを押して送信します。
このほかの基本的な以下の3つの項目は、階層方式を取り入れたセットモードで設定します。セットモードを表示するには機能キーを押します。設定が終わったらPTTキーを押すか、戻るキーで次の設定をします。

送信出力

送信出力を5W、2W、1W、そして送信をしない「受信のみ」から選択することができます。

セットモード
送信設定
送信出力

マイクゲイン

無線機内部のマイクと外部マイクのゲインをそれぞれ10段階から調整できます。

セットモード
送信設定
内部マイク感度
外部マイク感度

秘話設定

秘話のオン・オフと秘話コードを設定します。
秘話キーを00000にするか戻るキーを長押しすると秘話をオフに設定できます。

セットモード
通信設定
秘話コード

外部音量の設定

DJ-DPS70ではイヤホン使用時に耳を傷めるのを防ぐため外部のスピーカマイクやイヤホンからの音は小さくなるように初期設定されています。
より大きな音量が必要な場合は変更できますが、耳を傷めないようご注意ください。

セットモード
各種動作設定
外部音量設定

拡張セットモードの設定のしかた

普段余り使わない設定項目は、初期状態では表示させていません。設定項目すべてにアクセスできる拡張セットモードも表示するには以下の操作をします。

ステップ1　電源が入っている場合は電源を切る
ステップ2　機能キーを押しながら電源オン
ステップ3　「拡張設定有効？」で機能キーを押す

デジ簡の交信でぜひ使いたい4つの機能

Sメーター表示

シグナルレポートやベストな受信位置探しに便利な本格的なSメーター機能です。
なお、Sメーターを表示中は画面左上のアンテナマークのバーは表示されません。
アンテナのバーの本数とSメーターのおおよその振れは、バーが1本の時はSが4、2本の時はSが8、3本の時はSはフルスケールとなります。

拡張セットモード
表示設定
Sメーター表示

対象外受信

デジ簡での交信は秘話設定で行うことも有りますが、通常の秘話設定をすると他の通信が受信できなくなります。対象外受信機能をオンにすると、秘話状態を残したまま、それ以外の通信も受信できるようになり、チャンネルの利用状況を把握しやすくなります。（ユーザーコードが異なる場合は受信されません。）

拡張セットモード
受信設定
対象外受信

モニター

DJ-DPS70のモニター機能はデジタル信号が受信されていない時はFM復調信号をスピーカから出力します。ノイズや不要な信号の少ないチャンネルや、電界強度が弱く音声が復調できない微弱な信号を見つけやすくなります。

セットモード
各種動作設定
短縮キー動作
「モニター」を選択

残り送信時間表示

ラグチューに熱中していると、つい送信制限の5分を超えてしまうことがありますが、DJ-DPS70では送信時間の残り時間が表示されるためタイムアウト時間を正確に把握できます。
表示は3分前から”送信残り 3分”と表示され、2分、1分、30秒、20秒、10秒のタイミングで表示が更新され、10秒以降は秒数でカウントダウンされます。
なお、この機能は常にオンとなりオフにすることはできません。

ケースや好みで使い分けたい6つの機能

周波数表示

市販のトランシーバーや広帯域受信機でチャンネルをモニターしたりする際に便利な周波数表示機能です。"MHz"表示の上には小さくチャンネル番号が表示されます。

5W
351.29375 16 MHz
UC:OFF

拡張セットモード
表示設定
周波数表示

音量一定化

送信側によって大きかったり小さかったりする送信音声を自動的に調整して同じくらいの音の大きさで聞けるようにする機能です。

セットモード
受信設定
音量一定化

スキャン

通話が行われているチャンネルを自動的に探すスキャン機能は設定によりビジー/タイマー動作やチャンネルのスキップ設定が可能です。

セットモード
各種動作設定
短縮キー動作
「スキャン」を選択

PTTビープ/エンドピーのトーン

PTTビープとエンドピー機能は音の大きさのほか低音か高音を選択することができるため無線機が複数台ある場合の聞き分けなどに便利です。

セットモード
操作音設定
PTTビープ/エンドピー

サブPTT

短縮キーをあらかじめ設定した送信出力専用のPTTキーとして動作させることができます。普段は1W、届かないときだけ5W、の様に常に決まったパワーで使うときに便利です。

セットモード
各種動作設定
短縮キー動作
「サブPTT」を選択

送信出力切替ショートカット

短縮キーを押すごとに送信出力を切り替えられます。QRP実験の様に、ひんぱんに出力を変更しながら交信するときに便利です。

セットモード
各種動作設定
短縮キー動作
「送信出力切替」を選択

DJ-DPS70で使用可能なアンテナ形式一覧

アンテナ形式	利得(dBi)	アンテナ形式	利得(dBi)
単一(V) 1/4λ	2.15	単一(V) 3段コリニア	6.65
単一(V) 1/2λ	2.15	単一(V) 3段コリニア	7.15
単一(V) 1/2λ	3.00	3 素子八木	8.15
単一(V) 1/2λ 2段	5.15	5 素子八木	10.65
単一(V) 3/4λ	3.65	5 素子八木	11.15
単一(V) 3/4λ	4.15	7 素子八木	12.00
単一(V) 3/4λ	5.15	8 素子八木	13.15
単一(V) 1/4λ＋1/2λ 6 段	6.65	12 素子八木	14.15

特注品など、一般の市販品とは異なるものはリストしていません。
このリストに無いものをお持ちの際はホームページのお問い合わせフォームからご連絡ください。

デジ簡ワンポイントアドバイス

デジ簡で連続送信できる時間は5分までとなっていますが、受信信号の強度によって「受信も含めて」5分となる場合もあり、この場合は送信できる時間が短くなってしまいます。3秒間通信が無いと5分カウントはリセットされるので、時々この間を取って交信するとタイムアウトを回避できます。ブレークタイムも取れるので、一石二鳥です。